

推薦入試から特色選抜へ

「特色選抜」の目的

志望学科への興味や関心及び適性を有する者を選抜するという、**これまでの推薦入試の趣旨を今後も継承しつつ、生徒が主体的な学習に向かう力の育成**と中学校までの**基礎学力の確かな定着**を図り、特性や個性の一層の伸長につながる選抜とする。

現行の推薦入試の課題

沖縄県高等学校入学者選抜制度のあり方について(報告書)より
平成30年12月 沖縄県立高校入学者選抜制度改革に関する検討委員会

◆ (現行推薦入試制度は) 早期合格の手段としての傾向が強く、**本来の趣旨が活かされていない**との懸念

◆ **推薦合格内定者の一部に、その後の学習意欲の低下**が見られ、一般入試に向けた学習環境に影響を及ぼすこともあり、義務教育段階の学習内容の**確実な定着**に課題

◆ 各中学校によって**推薦基準が異なることによる不公平感**の指摘

「特色選抜」の基本方針

① 生徒が自ら出願できる NEW

- 学校推薦ではなく、生徒本人による出願とすることで、意欲的な学習の態度や主体的な進路決定を促す。

② 生徒の特性や個性を伸ばす UP

- 受検生の志望校を決定するための資料として、各学校・学科の特色をより明確に示すための「育成したい資質・能力」や「目指す生徒像」を作成する。

③ 学力検査を全員受検する NEW

- 義務教育段階の学習内容の確かな定着を図る。

④ 受検機会をこれまでどおり確保する

- 現行では推薦入試と一般入試で最大2校へ出願する機会があり、受検機会を維持する。

※ ICT活用を推進する NEW

- 出願システムや採点業務の効率化、複雑化する処理データの一元化等が必要となる。

スケジュール (予定)

| 年度(学年) | R3(小6) | R4(中1) | R5(中2) | R6(中3) |
|--------|--------|----------------------------------|-----------------------|----------------|
| 取組事項 | | 「育成したい生徒像」の作成・配布 説明会 ← 生徒・保護者 | 実施要項決定 説明会 ← 受検希望者 | R7 2月 実施 |
| | | 説明会 ← 学校等関係者 | | |

特色選抜について - 入試制度はどのように変わるのか -

県立学校教育課



